

ぴっくす

まちの話題



『あすばる大崎入浴者 100 万人突破！』

あすばる大崎の温泉入浴者数が3月24日、100万人を突破しました。

あすばる大崎のおおさき温泉『松韻乃湯』は、美人湯と言われる炭酸水素塩泉で、町内外から、連日、約800人が訪れるほどの盛況ぶりです。

この日、100万人目に訪れたのは、宮崎県三股町の内田信行さん（42歳）で、「長男の高校卒業を記念して家族6人で来ました。あすばる大崎には、今回、初めて訪れましたが、広々としていて、とても気に入りました。」と話され、新堂政春社長と一緒にくす玉を割った後、内田さんには花束と黒毛和牛のステーキ肉が贈られました。

『勲六等単光旭日章を授与』

下益丸の福岡喜兵衛さん（88歳）は、幾多の功績が認められ、今回、高齢者叙勲で勲六等単光旭日章を授与されました。

福岡さんは、大崎町議会議員を4期務められたほか、大崎町農業委員会会長、大崎町高尾原土地改良区理事長などを務められました。

福岡さんは、「これもひとえに、周囲の方々の協力や支援があつてのことと思います。これからも世の中のために、自分にできることは精一杯やっていきたいと思います。」と感想を述べられました。



『図書館に大西さんの文庫コーナーができました』

西迫の大西満典さん（81歳）は、町立図書館で活用してもらいたいと、100万円を大崎町に寄付されました。

大西さんは、26歳の頃、大崎町に転入し、第2のふるさととして生活してきて、「大崎町のために何かできることはないか」と日頃から考えられていたそうです。

大西さんは、「大崎町の青少年に、図書を通じて、たくさんの教養を深めてもらいたいのと、一般の人にも読書意識を持ってもらいたいという願いがあります。これからも、いろんな場でボランティアをしていき、少しでも大崎町のために役に立ていければと思います。」と、話されました。

図書館では、この寄付金で、幼児教育からの生涯教育を網羅した本を376冊購入し、『大西満典文庫』としてコーナーを設けました。

みなさん、多いに利用しましょう。

